

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズソリス行徳 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。」という質問項目では、9割の保護者から「はい」と回答をいただいたことから、多くの保護者から満足度の高い支援提供が行われている。	児童の興味を惹く活動や同じ活動の中でも児童の特性に応じて全員が参加できるように工夫された活動設定がされている。	教室職員の専門的な知識の更なる向上のために、定期的に心理士や作業療法士の助言を受けたり、教室研修を実施する。
2	保護者と情報共有を行い、支援に反映することができている。	支援のフィードバック時だけでなく、30分以上の個別の相談時間もご要望があった場合に対応を行っている。またフィードバック時に、相談があった場合は個別相談を積極的に促し、保護者と密に連携をとっている。	希望のある保護者を対象に定期的な個別相談を実施し、より連携を強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5名以上の児童が利用した場合、訓練室内での運動課題等の広さが求められる課題を行うには、教室内のスペースとして不十分である。	療育道具等の配置。	教室内配置の再検討を行い、少しでもスペースを確保できるように改善していく。
2	非常時対応の周知が行き届いていない。	周知の方法。	非常時対応について、避難訓練の周知方法をフィードバック時でのお伝えだけでなく、教室扉での掲示および手紙等で事前にお知らせを行える形に変更を行う等の工夫が必要である。
3	全体での専門性向上。	個々の職員が日々子どもたちへの支援に尽力している一方で、学びが個人に委ねられている現状がある。これが組織全体としての専門性向上に繋がりにくい要因と認識している。	研修や専門職員の助言を取り入れながら、教室職員全体での専門性の向上を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマートキッズソリス行徳 放課後等デイサービス
------	-------------------------

公表日 2025年3月27日

利用児童数 2024年12月25日 回収数 26

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	5	2	0	・少し狭さを感じる。 ・広さは確保されているが、換気状況がよくないように感じます。 ・座って工作する場合には十分だと思いますが、動きのある活動には少し狭いように感じます。	教室内の配置を再検討する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	3	2	0	・専門的な知識は参考になりませす。 ・広さは確保されているものを取り入れた支援を行って来ています。 ・今までは手厚く支援していただいたと思います。 ・子どもの様子を見て勉強に提案、実行していただいたことが複数あり、感心するやら感激するやら、驚いたことが度々ありました。 ・専門性は、人によって差が大きいと感じる。SSTは特 ・フールドやクの時の中に入ること、仕切りがあり ・中の様子はあまりわかりません。子どもからも聞くこと は難しいので、未回答です。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	6	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	21	3	1	1	・少し雑多な気がします。スペースは仕方ないにしても、	・療育道具の整備を行う。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2	0	1	・先生によってムラはある。 ・当初の個別支援が良かった。 ・特性への理解があり、感謝しています。 ・子供が楽しく課題に取り組めるよう常に考えて下さり、大変ありがたいです。 ・前述しましたが、特定の先生だけというわけではなく、どの先生も子どもの性格や強弱をよく見てくださっていて、救われてきました。子どもの苦手な部分も熱心です。 ・先生によって差が大きいと感じる。親の話をよく聞いて下さって、すぐ次の回から反映してもらえてありがたい。 ・ソリスの先生のおかげでできることが増えて、自信がつき、学校の活動の参加率が上がった。発達障害に詳しくない先生の時は、逆にやる気なくなってしまう心配な時があった。	・教室内研修やケース検討会を実施し、職員全体の質の向上を目指す。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	4	1	0	・一人一人に合うプログラムの時間が足りないと思う。 ・理想のようにはいかない。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	1	0	0	・いつも親身になって考えて頂いています。 ・保護者の意見をよく聞いて下さるし、子どもの様子を詳しく伝えてくれて、先生の考えや今後の方向性も示してくれて、ありがたいです。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	2	1	4	・苦手な強い課題は、継続して少しずつ出来る様になって欲しい。ゆるいレベルの評価もほしいです。	・本児の希望、保護者の意向を踏まえながらスモールステップで目標立てを行っている。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1	0	2	・支援につながるのであれば固定化もいいと思う。 ・色々なバリエーションで、子どもが楽しく取り組める工夫がされている。	
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1	20	4			
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	2	0	0			
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	3	8			
15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	3	0	0	・もう少し支援員の方と話せる時間があるといい、前くらい個々にフィードバックがしたい。 ・親とコミュニケーションを丁寧に取ってくれて、安心しています。	個別で対応をできるよう、家族支援相談を更に積極的に促していく。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	5	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	1	・いつも親身になってくださりありがたい。 ・先生方は、とても心強い存在でありたいです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	14	4	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	0	5	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	3	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	2	1	6	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1	0	1	
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	4	1	3
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2	0	5	
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3	0	4	
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	1	9	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	2	・安心感とはなんだろうかと不安な気持ちでも、楽しく取り組む事が大事だと思います。 ・とても安心して楽しく通っている。学校の先生よりも、リラックスしてお話ししやすい様子です。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	5	0	2	・毎回とても楽しみにしています。 ・楽しみにしているかはわかりませんが、楽しんでいると思います。 ・毎日通いたいというほど楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2	1	0	・支援提供の方法が変わってばかり。当初の形態にもどしてほしい。 ・親の話も、子供の話もよく聞いた下さり感謝しています。 ・もう少し支援している場面など見られたらいいなと思います。 ・個別療育、小集団療育は、運営するのは厳しいかもしれませんが、本人も私も、本当に動かっている。なんとかこの形の支援を受け続けたいです。本人の自信がついて、学校の授業に参加できるようになってきて、とても感謝しています。ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマートキッズソリス行徳放課後等デイサービス		公表日		2025年3月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・訓練室内の配置では、活動ごとに取り組むスペースを確保することで児童が切り替えやすい環境を作ることができている。	・教室内備品の配置が一部整備されていないため、療育備品等をスムーズに出し入れできる環境設定をしていく必要がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・支援前後にて、職員間で児童の様子や保護者との相談内容を共有することができている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・職員間で、話しやすい環境を全職員が意識することができており、支援・業務について意見交換を行う機会を毎日設けることができている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		・今年度から調理活動やお弁当購入、実験等の支援のバリエーションを増やし、療育の幅をひろげていくことが出来る様に工夫を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			・児童の特性に合わせた支援を提供するため、活動内容を適宜変更して対応することができている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	3	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		・学校等の関係機関との連携強化を検討中。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4			

保護者への説明等	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			・保護者の希望に合わせて、個別にて詳細に児童の様子や状況を確認している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			・「児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか」という質問では、全職員が「はい」と回答しており、実際に支援の振り返りの際にもその点について話し合うようになっている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		・月に一度、地震・火災・水害対応等テーマを設定し、避難訓練を実施している。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			